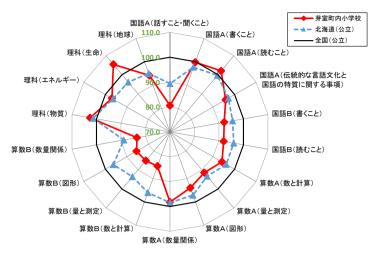
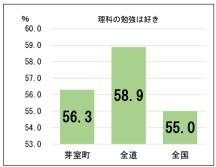
■ 芽室町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:4校、児童数:232名)

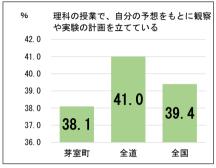
【教科全体の状況】

・チメ1イ 王 (A・ロンス・ル・コ) 教料の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの (市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】

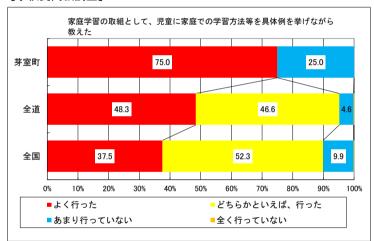




【児童質問紙調査】

96 授業の中で分からないことがあったら、その場で先生に尋ねている 25.0 20.0 15.0 17.3 19.8 16.1 5.0 4 F室町 全道 全国

【学校質問紙調査】



【分析】

| 教科 | ○ 国語A「読むこと」、理科「物質」「生命」において、全国 平均を上回っている。 | ○ 各学 童に 挙げ な取 |
|-------|---|------------------------|
| 児童質問紙 | ○ 理科の勉強は好きと回答した児童の割合が、全国を 上回っている。 | らな 尋れ |
| | ○ 理科の授業で、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てている児童が比較的多い。 | |
| | ○ 授業の中で分からないことがあったら、その場で先生に尋ねている児童の割合が、全国を上回っている。 | 立て の力 |
| 学校質問紙 | ○ 家庭学習の取組として、児童に家庭での学習方法等 を具体例を挙げながら教えた学校の割合が、全国及 び全道を上回っている。 | |

各学校で、家庭学習の取組として、児童に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えることについて、全校的な取組を行った結果、授業の中で分からないことがあったら、その場で先生に尋ねる児童が増えた。また、理科の勉強が好きな児童や、理科の授業で、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てている児童が増加し、特に、理科の力が付いてきていると考えられる。

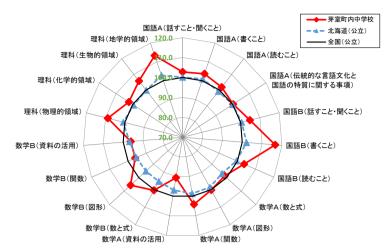
【芽室町の学力向上策】

- ◎ 小中連携を意識した出前授業の実施
- ◎ 年間指導計画の工夫や合同行事等の実施
- ◎ 小学校低学年での読み書き支援の実施や小学校中学年での1学級35人となる学級編制の段階的取組
- ◎ 通常の学級における教育活動指導助手や支援員の配置

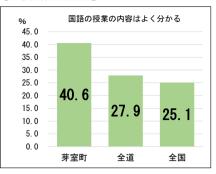
■ 芽室町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:3校、生徒数:218名)

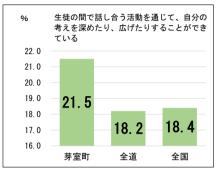
【教科全体の状況】

はメイヤエ 「仲ソンハル」 教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの (市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

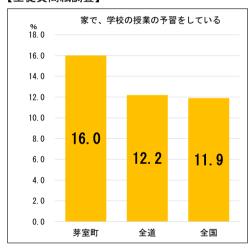


【生徒質問紙調査】

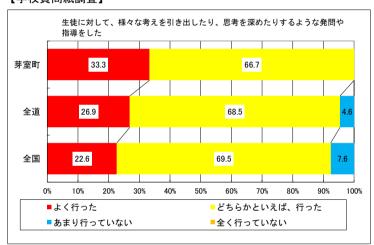




【生徒質問紙調查】



【学校質問紙調査】



【分析】

| 教科 | 〇 国語と理科の全ての領域、数学A「図形」「関数」、数i 学B「数と式」「図形」において、全国平均を上回っている。 |
|-------|---|
| 生徒質問紙 | ○ 国語の授業の内容がよく分かると回答した生徒の割 合が、全国及び全道を上回っている。 |
| | O 生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深め たり、広げたりすることができていると回答した生徒の 割合が、全国及び全道を上回っている。 |
| | ○ 家で、学校の授業の予習をしている生徒の割合が、全 国及び全道を上回っている。 |
| 学校質問紙 | ○ 生徒に対して、様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしている学校の割合が、 全国及び全道を上回っている。 |

各学校で、生徒に対して、様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導について、全校的な取組を行った結果、生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりする生徒が増え、国語の授業の内容がよく分かる生徒が増加した。また、家で、学校の授業の予習をする生徒が多く、特に、国語の力が付いてきていると考えられる。

【芽室町の学力向上策】

- ◎ 小中連携を意識した出前授業の実施
- ◎ 年間指導計画の工夫や合同行事等の実施
- ◎ 小学校低学年での読み書き支援の実施や小学校中学年での1学級35人となる学級編制の段階的取組
- ◎ 通常の学級における教育活動指導助手や支援員の配置